



日時 : 2017年4月15日(土)

集合 : 相鉄線相模大塚駅 10:00

コース : 相模大塚駅→蓼川(たてかわ)神社→厚木飛行場→報恩寺→光綾公園→城山公園
→市民文化センター長龍寺→綾瀬スポーツ公園→若宮八幡宮→小田急高座渋谷駅 15:30
24,000歩 17km (伊藤自宅含め 27,700歩)

参加者 : 高橋文L・市村SL含め37名 (一般参加青字7名含む)

【1班】長廣班長・勅使河原・神谷・大平・伊藤真・平山・平野・小山文・井内・市村SL
武倉・小野・平山 計13名

【2班】山田班長・平嶋・熊坂・奴田・小野里・佐藤繁・小林・小山美・福士・高橋紀・安齊
河野 計12名

【3班】森川班長・常盤・仲・高橋文L・斎藤・河野・清水・平林勝・志村・高良・内野・矢野
計12名 合計37名

天候 : 快晴風やや強し

今週も行事が多い。4月11日(火)仲L町田を歩こうフットパス④は雨で中止になりました。その後暖かい日が続き、今日も小春日和。服装が心配ですが調節しやすい長袖に、携帯、カメラとそのバッテリー予備、メモ等入れられるポケット12付いているチョッキ着用。雨具も含めリュックに入れる。マンション外に出ると風が強いが予報通り暖かく、ジャンパーなしでOK。帽子を忘れたが、風が強く被らないほうがよい。事前に地図と、距離を調べたが、今日は綾瀬市と大和市の境目の、厚木飛行場の周りがある公園と社寺を訪れながら歩くコース。約14kmとあるがそれ以上ある積りで参加。結果は広々とした田園地帯を歩き、公園や社寺には桜が満開で、厚木飛行場の離陸爆音も体験出来ました。良い企画で、高橋Lと市村SLに感謝とお礼を申し上げます。 P1

【コースマップ】

コース：①相模大塚駅→②蓼川（たてかわ）神社→③厚木飛行場→④報恩寺→⑤光綾公園→⑥城山公園
→⑦市民文化センター→⑧長龍寺→⑨綾瀬スポーツ公園→⑩若宮八幡宮→⑪小田急高座渋谷駅



【相鉄線相模大塚駅】高橋L、市村S Lのお迎えと地図渡し



朝日新聞に掲載された関係で、一般参加7名で受付も大変です。電車も人身事故発生の影響で遅れが出ていましたが、10時過ぎ全員揃いスタート。上図マップの様に、相模大塚駅から南側、東名高速を横断して、高速道沿いに歩き、②蓼川神社に向かう。飛行場の周辺、高層ビル建設は禁止されている。飛行場とのどかな田園散策を期待してのスタートです。

畑の中を歩きこんもりした林を抜けると約20分で【**なつかわ** 蓼川神社】に到着

歴史のある神社の様です。



蓼川は上・下に分かれていたが、上分の鎮守は大山祇命を祭る山神社と素盞男命を祭る八坂神社、下分は菅原道真を祭る天満宮でした。それが明治四十二年（一九〇九）に合祀されて蓼川神社となりました。

境内には、享保二十一年（一七三六）造立の双体道祖神をはじめ数多くの石造物が安置されており、また庚申堂には正徳三年（一七二三）に造立された青面金剛像（庚申塔）が祭られています。

蓼川神社



熊坂さんによるストレッチ

高橋Lコース説明と一般参加者紹介。市村SLと各班長紹介と班員確認。



37名は長い列になります

厚木基地ゴルフ場 今日土曜日プレイしていました 桜も満開



厚木飛行場は1942年帝都防衛の拠点として完成。1945年8月14日ポツダム宣言後も302指令の小園大佐は徹底抗戦を主張したが、マラリヤにかかり病院に強制収容された。506、9hr、綾瀬市78% P3

「厚木飛行場」(厚木海軍飛行場・海上自衛隊厚木航空基地) 名前の由来

由来は諸説あるようで、wikiを要約すると概ね以下の4つの説が挙げられます

- ①近隣の宿場町であった「厚木町」から名前をとった
- ②防諜のため、所在地とは違う地名を付けた
- ③当時の所在地名が「大和」「綾瀬」「渋谷」だったため他の同名地域と重複することを避けた
- ④大和基地にすると戦艦大和、奈良県の大和と混同してしまう

ただしどの説も決定打にかけるようで、結局のところその由来は定かではありません
厚木基地といっても現在の厚木市とは関連性は低いようです

厚木飛行場 1945年8月30日 ダグラス・マッカーサー連合軍総司令官が厚木基地に到着時パイプを持つ写真



基地の中の桜も満開



基地の横を通り、交差点を渡ると綾瀬高校、国民体育大会弓道、卓球他、競技出場祝垂れ幕が沢山



【陽光山 報恩寺】曹洞宗

青空に2本の樺? 大木が美しい

松も綺麗に手入れしてある



開山は朝岩存夙大和尚、開基は後藤右近、心宗永伝居士

境内の美しい庭木と休憩中の皆さん



鐘樓の周りにも



小生はもっぱら写真撮影に 観音堂



「おたすけ観音縁起」

当山二十七世 太嶽洞源大和尚(たいがくとうげん)は、現役入隊で、台湾の正蕃征伐(せいばんせいばつ)に参加し、山奥の作戦中、早朝、一人で滝の前で座禅中、滝の中に観音様を排することができ「観音様がついていくさるから、敵の弾に当たる事がない。」とかんじられた。激戦で戦友達が多く戦死する中で、無事に帰還出来たので、この有難い観音様を一人でも多くの方に拝んで頂くこと、観音石像を刻み境内に安置し、観音像を描いて、沢山のの人に差し上げたので、「おたすけ観音」として、第二次大戦中は、県内を始め東京等から参拝の人達が続いた。



「長峰自然の森」 シイタケコーナーも有りました



【光綾公園】 8,600 歩 昼食場所 11:45~12:20 桜が散り始めまさしく最高の花見弁当でした。



こうりょう公園：光陵でなく光綾(綾瀬の綾です)



古木大樹の枝垂れ桜の下の花見弁当は特等席です。桜花びら絨毯と、池にも花びら埋め尽くし。



何故か海賊船の滑り台。今日は土曜日子供たちもお花見を兼ねて滑り台。



「ソメイヨシノ」

オオシマサクラとエドヒガンサクラの自然交配雑種で、江戸末期から明治に植えられた。戦後全国的に植えられ、日本の桜7~8割を占めるようです。樹木に青苔が付きやすく寿命は60~80年といわれている。

「準用河川比留川」川岸にシバサクラの絨毯が目立つ 青空のもと、あたり一面畑の中を歩く



高級住宅街もある 【城山公園】 12:55 12,700歩 集合写真 (P1)



早川城跡

早川城跡は、地元では古くから城山と呼ばれ、鎌倉時代の御家人渋谷氏の城と伝えられています。しかし、文献資料がないことから、その実態は明らかではありません。そこで、綾瀬市教育委員会では平成5年度から平成6年度にかけて、早川城跡の学術調査を行いました。

発掘調査により、堀切、土塁、物置家、曲輪等、多くの城郭関連遺構が発見され、市内でも有数の保存状態の良い中世城郭であることが明らかとなりました。また、城郭が築築される以前には、縄文時代や古代の集落が営まれていたことも明らかとなりました。



「早川城跡」看板を見て 沢に下り、集合写真を撮り、又上ります。今日唯一健脚登り階段? KWCこのぐらいは・・・?

この一帯を統治していた渋谷光重の子実重は早川次郎実重と名のり、この早川城を拠点に一族を統率していました。
 渋谷氏は1247年のこの一帯で起きた宝治合戦で軍功があり、薩摩国川内川水系に領地を与えられました。
 その折、光重は、長男重直のみを相模に置き、二男以下の男子5兄弟(早川、吉岡、大谷、曾司、落合)を薩摩国に下向させました。下向した5兄弟の一族は後に薩摩で居を構えた土地の名を名乗り永代活躍することになります。

5兄弟のうち早川次郎実重は現在の鹿児島県薩摩川内市東郷町の地頭となり、東郷氏を名のりました。

東郷氏と言えば、東郷平八郎元帥
 明治の日露戦争で当時世界中が恐れるほどの戦闘力をもったロシアのバルチック艦隊を日本海海戦で滅ぼした時の連合艦隊司令長官です。
 平八郎氏は、江戸時代の末期今の鹿児島市で生まれ武士として育ち、薩英戦争も経験した薩摩の英雄です。

渋谷光重の子、早川次郎実重は薩摩川内につながりがあり、更に東郷平八郎にもつながるとは・・・
 思わぬ出会いの公園です。

桜の木他、木の名前が隠されて学習できるようになっている。階段を降りるとバラ園がありました。



階段は結構長く下ります。バラ園が見えてきましたが、バラはまだでした。庭園の中に入ると出られません！



再び畑の中を歩く 気分は最高です 飛行場の為高層建物は建てられません 綾瀬ふれあい大釜



「あれ～又、市役所のところへ戻ったのでは！」

文化センター 13:20～13:30 15,600歩 トイレ、給水休憩
 憩 広いホールで椅子も沢山有り、素晴らしい設備でゆったりと！
 小生も持参したバネ付き球で左足を叩き、痛み対策しました。



休憩場所としては最高でした。



高橋L「各班人員点呼して下さい、出発します！」



【深谷山 長龍寺】曹洞宗 境内は広く庭園がよく手入れされている。



桃か？緑のツツジと調和している



鐘楼

1本の木に紅白の桃？

ピンクの枝垂れ

桜のつぼみ？



大橋氏一族の墓石群

深谷山長龍寺は、室町時代に蛭川越後によって建立された曹洞宗の寺院で、大橋氏一族の菩提寺です。

大橋氏は、寛永十年（一六三三）、深谷村などに知行を与えられ、寛永十六年（一六三九）には千石の加増があり、二二〇石の所領を知行した旗本です。

大橋五左衛門親善は、徳川秀忠に仕え、大阪の陣に従軍し、寛永十六年（一六三九）には千代姫（徳川秀忠の養女）の用人となりました。

大橋氏は、宝暦八年（一七五八）まで旗本の細井氏（本家・分家）とともに深谷村を支配しましたが、当時勘定奉行であった大橋近江守親義が郡上藩（岐阜県郡上市）の宝暦騒動に関連して所領を失い、以後深谷村の大橋氏所領は幕府領になりました。大橋氏一族の墓石群は昭和五十七年より市の指定文化財です。



寒緋桜、桃、ハクモクレン、ツツジ等花のお寺として親しまれているようです。

「本蓼川：綾瀬大橋」渡ると大和市



本蓼川 「綾瀬スポーツ公園」休憩 14:20 山内さん合流



「大和市：大和ゆとりの森」とつながっている 芝桜が鮮やかに歓迎！



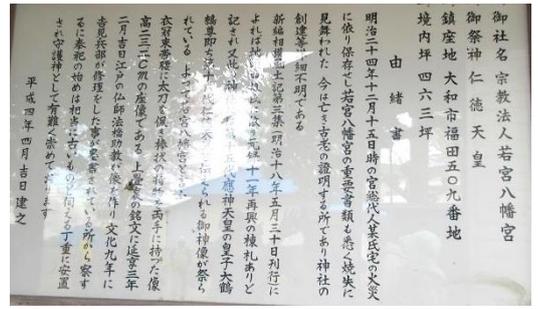
再び農園の中道を歩きます



歩幅・ピッチ快調！



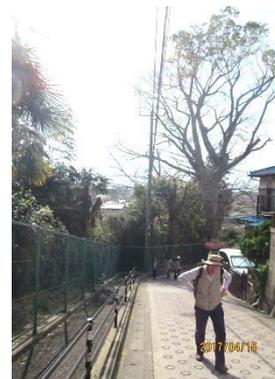
【若宮八幡宮】 15:00 23,000歩 最後のお宮、近道が判らない、地元の人に聞きOK。



熊坂体操先生によるクールダウン。高橋L「高座渋谷駅まであと少しです。歩数は駅で確認します。駅周辺、アフターする店はありませんので、今日はなしで、駅で解散します」



本蓼川に桜の花びらお見事な眺め！ 最後の登りサービス！ 振り返る高橋L 見事なケヤキ？



この歩道は皆様の要望により関水一夫氏から無償でお借りして整備されました。市が管理する歩道ですが皆で協力してきれいに利用しましょう。
下福田北部自治会

「花のお寺：常泉寺には寄らないの？」「小田急高座渋谷駅」 15:30 到着



高橋L「お疲れ様でした。歩数は24,000歩17kmとします。ここで解散と致します」高橋L、市村SLご苦労様でした。ビルには銭湯はあるが、飲むところは何もない。帰りましょう。小田急なので、中央林間に乗り換え溝口まで45分、自宅16:45到着。初めてアフターなしで帰る。早めのお風呂上りに自宅で刺身付きアフターやるのも又良し。

編集後記：風はあったが最高の小春日和。半袖でも丁度良いぐらい。綾瀬市と大和市の境に厚木飛行場があることを確認し、今日は土曜日で飛行機の離着陸は体験できないものと諦めていたら、最後2機がすさまじい爆音を響かせて、頭上を離陸しました。小生の郷里山口県、岩国飛行場に移転するようですが、まだ正式には決まっていないようです。いづこでも反対は起こる爆音です。いつもの拙いボケ防止用の日記帳「メモと写真」です。誤記や、失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。追記：小島さん復帰おめでとうございませう。小生も同じ腰部脊椎版狭窄症に2年前なり、治療や背曲げ体操等で良くなりKWC参加していますが、最近2万歩以上歩くと又痛くなることがあります。お互い頑張りませう。